

イヒナビ

vol.2

ihinavi

AUGUST-2/2024

旭化成ホームズ株式会社
東京法人支店

防災リュック、そのままにしていますか？

**真夏に災害が起きたら
どうすればいい？**

南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）！

**2024年に起きた
震度5弱以上の地震は25回！**

**真夏の
大災害に備える**

真夏の災害時に
有難さがわかる

**在宅避難
という選択**

猛暑の夏に大災害が起きたら、、、 防災対策は、季節に応じて対応しよう！

今すぐ確認！皆さんの防災リュック 季節毎に中身を変えていますか？

防災リュックを購入したから、安心してそのままにしている方が大変多いです。大地震や災害はいつ起こるかわかりません。季節に応じてリュックの中身を変えておくと安心です。特に真夏の猛暑日に災害が起き、避難しなくてはならなくなった場合、ライフラインも途絶えて、冷房や扇風機がない部屋で過ごさなくてはならない可能性もあります。



夏の時期に備えたい、防災冷感アイテム！

夏場に用意しておきたいのは、体を冷やすためのアイテムです。冷んやりするタイプの汗ふきシートや冷感スプレー、充電式の扇風機、扇子やうちわなどがおすすめです。暑さが激しく熱中症になりそうな場合は、叩いたりするだけで瞬間冷却できる瞬間冷却剤なども有効です。冷却効果を高めるためには、脇の下や首などを冷やしましょう。災害時は水は貴重なので水を使わずに、体を冷やしていく対策を考えておくと安心です。



充電式扇風機



汗ふきシート



冷却スプレー

夏は 衛生対策 も必須！菌の発生や、食中毒などにも注意が必要です！

菌が発生しやすい夏は、十分な衛生対策も大切です。避難所のトイレでは多くの方が利用するので、こまめに除菌アイテムで手を拭くなどの対策をしましょう。また生ゴミなどは、防臭袋に入れておくことでニオイ対策にもなります。



大型地震が発生した場合は、日本の広い範囲が被災します。そうすると支援物資の支給にも時間がかかる可能性がありますので、日頃から備えておきましょう。

2024年8月14日現在 震度5弱の地震が25回発生！！！！

まだ8月なのに、近年にない回数の **大型地震が発生** している！

2024年は元日に能登半島地震が発生し、それから大きな地震が続いています。2024年8月14日現在、震度5弱の地震が日本ではなんと25回も発生しています。参考までに震度5弱が近年何回発生したのか？気象庁のデータで調べてみると、2020年に8回、2021年に10回、2022年は15回、昨年2023年は9回発生していました。データを見比べるといかに今年に大きな地震が発生しているかが実感できると思います。

その時を **想像して** おきましょう！

猛暑が続き、気温が35℃などは当たり前の感覚になってしまったように、私たちは震度5弱の地震が多数発生しても、少し感覚が麻痺してきてしまったようにも感じます。しかし、いざ大地震が発生してしまったら、東日本大震災の時のように、能登半島地震のように、とても辛い経験をしなくてはなりません。「備えておいたけれども、実際に起こらなかつたら良かった！」と思えるように、大地震がきた時を想像し、対策をしておくことが大切です。



家族で地震が起きた時を想定して話し合ってみよう！

ご家族で大地震が発生した場合、どのように連絡を取り合うのか？どう避難するのか？などを話し合ってみましょう。夏休み期間などにゆっくりと話しておき、いざという時の心構えを家族で共有しておきましょう。



<確認内容の一例>

- ①災害時にどの親戚や知人等に連絡をするのか？
その連絡手段はどうするのか？
- ②自宅近くの避難場所の確認
- ③幼稚園、学校などから災害時の子どもの引き取りに関する取り決めの確認
- ④家族の安否確認は災害用伝言ダイヤル 171などのサービスを利用するのか？

在宅 避難 という 選択



災害に強い家であれば、在宅避難も可能です。

いつもの生活を続けられる幸せ



いつもの寝具で寝られる



ペットがいるご家庭も安心



蓄電池などがあればエアコンも

自宅で暮らせるなら、衛生面でも安心



避難所での苦痛の一つがトイレ



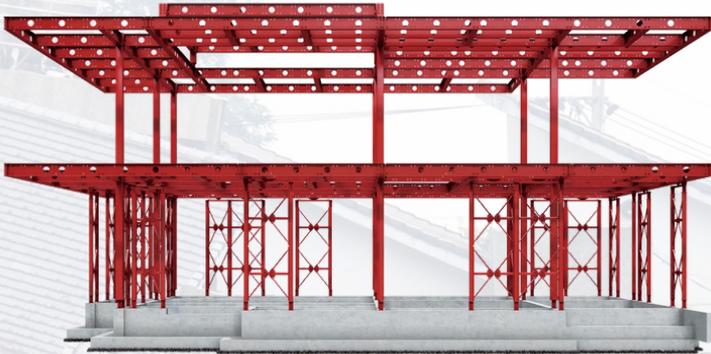
夏場はゴミが溜まり蝇なども



匂いに敏感な人にはとてもつらい環境



災害に強いヘーベルハウス



地震に強く

[重量鉄骨構造・デュアルテックラーメン構造]は強靱な柱と梁で支える重量鉄骨構造と独自の制震フレームにより、建物を巨大地震から守ります。業界初の2階建て専用重量鉄骨躯体の実大振動実験では、過去に起きた巨大地震8波と今後予想される巨大地震4波に耐えられるか、過酷な条件で実験を行い損傷がなかったことがわかりました。



火事に強く

首都圏直下M7クラスの地震被害想定では、焼失棟数は揺れによる全壊の2倍以上だと言われています。特に住宅密集地では地震後の火災被害が拡大しやすいといわれ、気象条件によっては、地震の揺れによる被害を大きく上回る予想もされています。



風水害に強く

雨漏りの原因は壁が7割以上。雨漏りの原因として保険事故発生部位の割合が最も大きいのは「壁・防水」で約7割。ヘーベルハウスは、確かな防水性と安心の防水保証で、風雨から住まいを守り続けます。

<編集後記>

8月8日16時43分頃に日向灘を震源とするマグニチュード7.1の地震が発生し、南海トラフ地震注意情報（巨大地震注意）が気象庁から発表されました。そして翌日の9日には神奈川県西部で最大震度5弱が観測されました。

10年前は、35℃以上の気温になることは、滅多にありませんでした。今年は北海道でさえも、暑さが厳しいそです。もし、今このタイミングでさらに大きな地震が発生したら、どうなるのでしょうか？災害での被災だけではなく熱中症も併発してしまう方も出てくると予想されます。

2024年の地震発生を調べたところ、今年は今までにない頻度で大型の地震が発生していました。ぜひ皆様も、地震、風水害などの備えを日頃からしておいていただければと思います。

そして、これから家を建てる、建て替えるご予定がある場合は、在宅避難も可能な家づくりを是非ご検討ください。ヘーベルハウスでは、地震に強い構造、火災に強い壁などで大切な家族を災害から守ります。さらに太陽光発電パネルや蓄電池を備えておくことで、ライフラインの復旧まで、少しでも快適な環境に役立ちます。

私たち東京法人支店では、さらに、ローリングストックができるレイアウトなどのご提案もさせていただいております。

是非、御社の担当までご相談ください。